

大垣精工 50周年祝う

セイコーハイテックは35周年

式典、飛躍へ決意新た

精密金型製造の大垣精工（大垣市浅西）の創立50周年と、子会社で超精密プレース部品製造のセイコーハイ



①節目を祝って鏡開きする出席者ら②小川敏市長に寄付の目録を手渡す上田勝弘社長（右）③大垣市万石、大垣フォーラムホテル

テック（同）の創立35周年を祝う式典が、同市万石の大垣フォーラムホテルで開かれ、米国や韓国、台湾からの来賓を含む約380人が出席した。

大垣精工は1968年、セイコーハイテックは84年にそれぞれ創立。ハードディスクなど電子機器用の精密金型や自動車用部品、自動車の排気ガス浄化センサー用部品などを手掛けている。

式典で両社の上田勝弘社長は、半世紀前の創立時に思いをはせながら「今後、技術を蓄積し、変革にも敏感に反応しながら金型とともに世界のものづくりに貢献したい」と誓いを新たにしました。

その後、来賓らが鏡開きを行い、出席者全員で両社の一層の発展を願った。また、記念事業として両社から大垣市に1千万円、岐阜大と立命館大にそれぞれ2

00万円を寄付。上田社長が小川敏市長や森脇久隆岐阜大学長らに目録を手渡した。